

輝け! 多摩区の大学生 ~キラリと輝く大学生を紹介します~

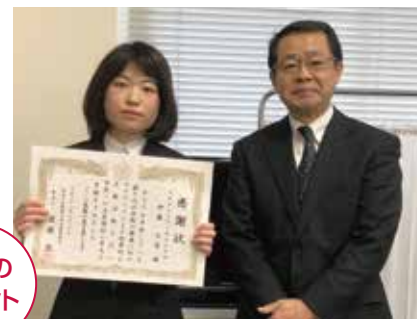
明治大学 天文部 日常の観測活動以外に、地域との交流イベントとして、例年7月頃に生田キャンパス内での「七夕観望会」、10月頃に生田小学校にて「星をみる会」を開催しています。「七夕観望会」の開催詳細は、6月頃から近隣のポスター告知や天文部ホームページにてご案内します。 [明治大学天文部](#) [検索](#)



学生のコメント

私たちは、子どもたちに天文の魅力を知ってもらいたいという思いから、主に近隣の小中学生を対象とした「七夕観望会」を開催しています。子どもたちにも分かりやすい夏の星空についての勉強会や、七夕の物語をテーマとした劇、私たちが普段の観測活動で使用している望遠鏡を用いた観望会を行うなど、毎年多くの子どもたちに楽しんでもらえるような内容を用意しています。ぜひご家族でお越しください。

日本女子大学 放送研究会 神奈川県警察川崎市警察部からの依頼により、日本女子大学放送研究会の伊藤 芹香さん(人間社会学部心理学科3年次)が地域の犯罪抑止のための注意喚起アナウンス製作に協力し、感謝状が贈呈されました。川崎市内を巡回するゴミ収集車で利用する「詐欺に関する注意喚起」としての録音を行い、多摩区を含む川崎市内にアナウンスとして流されました。



学生のコメント

自分がアナウンスしたものが色々な人に聞いていただける機会というのは滅多に無いことなので、今回このような機会を頂けて光栄でした。自分がサークル活動を行ってきた中で得たものを実際に活かす良い機会にもなりました。私のアナウンスが少しでも詐欺防止に役立つと嬉しいです。

大学キャンパスへ行ってみよう!



専修大学生田キャンパスには、個性豊かな学食が複数あり、地域の方々の利用も可能です。カレーや麺類といった定番はもちろん、目の前でジュージュー音を立てる「鉄板焼き」、女子学生に人気の「ふわとろオムライス」、あまりの人気ですぐに売り切れる「ステーキ丼」といった本格的なメニューを揃えている学食も。また、食育の観点から朝食を提供する学食もあります。

10号館4階の「シダックス」では、通常メニューのほかに、ソフトクリームやデザートメニューも充実。特にソフトクリームは季節限定の種類が出るなど、学生からも大人気です。

生田緑地からも近いので、散策の際にぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか?



たまなび | vol.2 | News

多摩区・3大学連携協議会情報誌

たまなびって?

「多摩区」+ 情報発信・案内の「ナビ」と地域の皆様と大学生の「学び」を表現した造語です。



ちえきじえにつく

大学生と小学生が「たまなび1日子ども商店街」で初出店!



エコたま ~エコバッグをつくろう!~



多摩区屋さん



割りばし鉄砲

参加した大学生の声

● 普段関わることのない子どもたちや他大学の人たちと一緒に活動し、新しい発見がありました。● 他大生と企画をするのが新鮮でした! ● 想定より集まる回数が多かったですが、やってみると楽しかったです。

多 摩区のまちを舞台に、3大学の学生が、地域を知り、学び、地域を楽しむ連続プログラム「たまなび」を昨年6月より進めてきましたが、11月17日(土)に登戸まちなか遊緑地のイベント会場にて「たまなび1日子ども商店街」として模擬店を立ち上げ、区内の小中学生と一緒に運営するイベントが実現しました。

模擬店は、大学生が企画した ①多摩区屋さん ②割りばし鉄砲 ③ちえきじえにつく ④エコたま~エコバッグをつくろう!~ の4つ。

小学生は1日だけの「小学生店員」となり、大学生はお兄さん、お姉さん役となり小学生をサポート。どのお店にも予想をはるかに超え、多くのお客さんが来てくれました。



「たまなび1日子ども商店街」の振り返り&お楽しみ会

出 店から数日後の12月1日(土)には、明治大学生田キャンパスで、振り返り・お楽しみ会を行い、仲良くなった大学生と小学生の再会を喜びつつ、ちょっとしたお楽しみつきの振り返りを行いました。

午前中は来店時の映像を見ながら振り返りつつ、キャンパス内のスタンプリー、クイズ大会を行い、みんなで学食を楽しみました。午後は大学生のみが参加し、たまなびプログラムの良かった点や改善点、今後に向けた意見交換を行いました。



2018多摩区3大学コンサートを開催

今 回で14回目を迎えた多摩区3大学コンサートを昨年11月17日(土)に多摩市民館大ホールにて行いました。今回は、専修大学混声合唱団カッパコーラス部、明治大学Wind Orchestra、日本女子大学しゅわクローレが出演し、素晴らしい歌声、迫力あるブラスの響き、あたたかみのある南米楽器と手話歌のコラボレーションで約550人の観客を魅了しました。

次回告知 11月16日(土)午後(予定)



30年度 大学・地域連携事業実施報告

多摩区フォトコンテストの入選作品が決まりました

(実施:専修大学商学部マーケティング学科 渡辺 達朗ゼミナール)

多 摩区内の魅力をも再発見し、地域資源の面的な回遊を図ることを目指して実施した「第1回多摩区フォトコンテスト」。「3枚の写真でつなぐ、あなたと多摩区のお話」をテーマとして作品を募集し、全58点の応募をいただきました。関係者で入選作品を選考し、入選作品は12月17日～22日まで多摩区総合庁舎1階アトリウムに展示しました。来年度もフォトコンテストを実施予定ですので、お楽しみに。

大賞作品「休日ぐらり」



ニヶ領用水(自然)



藤子・F・不二雄ミュージアム(観光)



向ヶ丘遊園駅(商業)

ニックネーム:ogatsu

3Dスキャナーを活用して日本民家園のフライスルー・ムービーを制作

(実施:明治大学理工学部建築学科 田中 友章研究室)

日 本民家園内の「神奈川の村」を中心としたエリア、山道家、広瀬家、船越の舞台を対象として、3Dスキャナーによるデータ計測を行いました。そして、取得した3次元データを活用して、断面画像、立体視画像、フライスルー・ムービー等を制作し、生田緑地サマーミュージアムや多摩区民祭で一般公開しました。これらの成果物は研究室などのホームページで公開できるように作業を進めています。



知的探訪

～公開講座・生涯学習情報～

今春から始まる大学公開講座・生涯学習の一部を紹介します。

大学の「知」に触れてみませんか? ※受講の際は、公共交通機関をご利用ください。

専修大学

専修大学経済学部公開講座

講師:専修大学の教授陣

日時:5月～6月の土曜日、全6回

受講料:無料(要予約)

専修大学経済学部では、知的資源の還元を目的に、地域の方々を対象として公開講座を毎年実施しています。今年度は、共通テーマを「米中二極時代の世界経済とその行方」とし、米中対立が世界経済やアジア経済にどのような影響を与えるかについての講演を行う予定です。なお、本講座の詳細発表および申込受付は、4月中旬より行います。

〈申し込み・問い合わせ〉

教務課経済学部 Tel:044-911-1257

海外客員教授による

国際交流特別講演会

講師:カンティロン サラ(グラスゴー・カレドニアン大学ビジネススクール教授)、コンマニラ サイボン(ラオス国立大学経済経営学部会計学専攻長)

テーマ:「やさしい英語による経済学講座(仮)」

日時:5月～6月の土曜日10時～11時半、全6回(予定)

受講料:無料(要WEB申込) 定員:180人

アイルランドとラオスの海外客員教授による全編英語の経済学講座です。グローバルな経済問題を分かりやすい英語で取り上げ、海外の大学教授の講義を聴くことができるため大変好評です。1回完結型のため、途中からの参加も可能です。詳細は決定次第、下記ホームページでお知らせします。

〈申し込み・問い合わせ〉

国際交流センター(生田) Tel:044-911-1250 <https://www.senshu-u.ac.jp/global/>



明治大学

【リバティアカデミー】生田キャンパス設置講座のご案内

「秘密戦総合研究所としての陸軍登戸研究所の成立」

講師:山田 朗(明治大学文学部教授)

渡辺 賢二(平和教育登戸研究所資料館展示専門委員)

日時:5月11日(土)・25日(土)、6月8日(土)・22日(土)、7月6日(土) 10時半～12時、全5回

受講料:10,000円 定員:40人

1939年に電波兵器・風船爆弾・毒物・生物兵器・偽札などの研究・開発が始まってから80年を迎える登戸研究所。本講座では、《秘密戦総合研究所》が成立した時代背景とともに、この時期に一気に拡充された登戸研究所の研究内容について詳しく紹介します。

〈申し込み・問い合わせ〉 リバティアカデミー事務局 Tel:03-3296-4423 <https://academy.meiji.jp>

「身体に必要な栄養素や乳酸菌の働きについて理解しよう!」

講師:竹中 麻子(明治大学農学部教授)

佐々木 泰子(明治大学農学部准教授)

日時:5月25日(土) 13時～15時10分

受講料:無料(要予約) 定員:120人

生活習慣病が社会問題化している現代。人生の後半も、医療や介護などのサービスに頼ることなく、不安無き人生を送るために、今何をすべきか。忙しい現代人が疎かにしがちな自身の健康について、じっくりと向き合う時間が必要ではないでしょうか。身体に必要な栄養素についてきちんと学び、その答えを導き出していきます。



日本女子大学

【生涯学習センター】2019前期 公開講座のご案内

「松方コレクション～流転の百年」

講師:馬淵 明子(国立西洋美術館長、日本女子大学元教授)

日時:4月24日(水) 13時半～15時

受講料:1,300円 定員:80人

今年開館60周年を迎える国立西洋美術館は、戦後フランス政府に接収されていた375点の松方コレクションが日本に寄贈返還されたのをきっかけに、ル・コルビュジエ設計によって建設されましたが、松方幸次郎が美術館をつくる目的で着手したコレクションは3,000点にも上るとされています。この講座では、6月開催の「松方コレクション展」の紹介、コレクションの流転の歴史を明かすとともに、調査の過程でどのような発見があったのかお話しします。

〈申し込み・問い合わせ〉 生涯学習センター(西生田) Tel:044-952-6961 <https://llc.jwu.ac.jp/nishiikuta.html>

「象徴天皇を考える」

講師:田中 久文(日本女子大学人間社会学部文化学科教授)

日時:5月15日(水) 10時半～12時

受講料:1,300円 定員:40人

天皇の生前退位の意思表明は、象徴天皇とは何かを改めて見直す大きなきっかけとなりました。象徴天皇制は、もともとGHQの発想によるものです。しかし、それに近い考え方はすでに戦前から広く存在しました。多様な天皇論を振り返りながら、民主主義と共存しうる天皇制とは何か、これからの天皇制はどうあるべきかについて考えてみたいと思います。